

国際交流員ザブリーナ・リンの「コラム」

サンタさんへの手紙



特別な郵便局

以前このコラムに書きましたが、ドイツ最大のお祭りはクリスマスです。特に子どもたちは嬉しくてたまりません。アドベントカレンダーもクリスマスの楽しみの一つですが、もう一つ楽しみなことがあります。それはサンタさんへの手紙です。

日本ではどうなるかわかりませんが、もしドイツで子どもたちが「サンタさんへ」、または「幼子キリストへ」というあて先の手紙を郵便局へ届けば、特別なクリスマス郵便局へ届きます。クリスマス郵便局はドイツだけでなく、オーストリアなどのドイツ語圏、英米、またスカンジナビア地域にもあります。ドイツの場合、クリスマス郵便局は独特な地方にあります。地方の名前はクリスマス霧囲気を感じさせるもので、大体のんびりした地方です。例えばエンゲルスキルヘン（天使の教会）、ヒツメルステュール（天国への扉）、ヒツメルスシュタット（天国の町）、ニコラウスドルフ（サンタさんの村）など、クリスマスやキリスト教の霧囲気を表す面白い名前でしょう。

子どもたちが欲しいもの

手紙が12月中旬までにクリスマス郵便局に届けば、子どもたちはサンタさんからのお返事をもらうことができます。子どもたちが「欲しい物」として手紙に書いてくるのはいつもお菓子やおもちゃというものではないみたいです。子どもたちは丁寧なサンタさんへの挨拶をしたり、絵を描いたり、感想文を書いたり、「物」ではない欲しいものを書いたりもします。それは、世界の平和、家族の安全、親戚や友達への健康や病気の治癒など。子どもたちの書く手紙から様々な現代社会の様相が見て取れます。

一般的にサンタさんからのお返事は、子どもを喜ばせるような決まったお返事の文章になっていますが、時々、個人的なお返事をもらうこともあるらしいです。毎年特別な記念切手やスタンプが作られるので、切手収集家にとっても人気があるらしいです。

ドイツの場合、ドイツポストが特別なクリスマス郵便局を支えています。ドイツの中西部に位置するエンゲルスキルヘン（天使の教会）のク

リスマス郵便局だと、12月20日までに届く手紙は全て24日までにお返事をしていきます。毎年約14万枚もの手紙が届くらしいのでとても大変ですが、子どもたちを喜ばせるために、皆さんが熱心に頑張っているそうです。

やはり、ドイツにとってクリスマスは大事な祭りです。特にクリスマスになると、相手に喜んでもらえるような行動も大切だと考えられています。お互いの助け合う気持ちでクリスマスの際には強くなります。



国際交流員リンの「びっわーん箱」第18回

アドベントカレンダー作り

ドイツのお楽しみカレンダー作り。クリスマス間近のこの時期、ドイツの「アドベントカレンダー」を作ってみませんか？「クリスマスまであと何日...？」という気持ちで楽しんでクリスマスを迎えましょう！子どもたちはもちろん大人にも人気がありますよ。

- 日時 11月30日(土) 午前10時～正午
- 場所 国分寺公民館 第2研修室
- 定員 15名(年齢制限なし)
- 申込期間 11月11日(月)～28日(木)
- ※11月10日(日)開催の第2回下野市産業祭でもお申し込みが可能です。

- 材料費 アドベントカレンダー一つにつき 500円
- 一般 400円
- 国際交流協会会員 (当日集金します) 400円

- 持ち物 ・はさみ、のり、クーピーペンシルあるいは水性・油性マーカー、お菓子あるいは小さい玩具(※、持ち帰り用の大きな袋)
- ※好きなお菓子・玩具について、24個以上の小袋に分けられる量で、毎日違うものである方がよい。例えばグミ、小さいクッキー、チョコレートなど

皆様のご参加を楽しみにお待ちしております！

問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局
(市役所生活安全課内)

☎(40)5555

✉sashimotsuke@gmail.com